

再処理・リサイクル部会  
令和元年度 第3回運営小委員会 議事録

1. 日時： 令和元年 10 月 28 日（月） 13：30～16：00
2. 場所： 日本原子力研究開発機構 東京事務所 第7会議室（富国生命ビル19階）
3. 出席者： 松田部会長、鈴木副部会長、栗飯原委員、秋山委員、魚住委員、大西委員、川久保委員、岸本委員、三倉委員、駒嶺委員、塚原委員、津幡委員、福田委員、渡邊（記録）、藤田顧問、飯塚参与、松村参与

4. 配布資料：

- 資料 3-1 令和元年度 第3回会合 議事次第  
資料 3-2 令和元年度 第2回運営小委員会議事録  
資料 3-3 第3回再処理・リサイクル部会夏期セミナー収支実績  
資料 3-4-1 第15回再処理・リサイクル部会セミナー プログラム案  
資料 3-4-2 第15回再処理・リサイクル部会セミナー ご案内  
資料 3-4-3 第15回再処理・リサイクル部会セミナー アクションプラン  
資料 3-4-4 第15回再処理・リサイクル部会セミナー 作業分担リスト  
資料 3-5 部会賞について  
資料 3-6 部会等運営委員会の報告  
資料 3-7 GLOBAL2019 若手渡航費支援について  
資料 3-8 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ フェーズ3

5. 議事概要

5. 1 GLOBAL2019 ステアリング会議について（報告者：松村参与）

- ・GLOBAL2019 のステアリング会議で GLOBAL2023 の開催国を議論した際、開催可能なら日本で GLOBAL2023 を開催して欲しいという結論となったことが、松村参与より報告された。
- ・日本開催について、運営小委員会で下記の議論を行った。
  - ・日本原子力学会が主催となるため、担当部会の再処理・リサイクル部会が運営を主に担うことになると考えられる。
  - ・主催となる日本原子力学会への報告が必要である。
  - ・関連部会（核燃料、バックエンド、新型炉、他）に協力を要請するべきである。
  - ・国内のキーパーソンへの説明も必要である。

5. 2 新任委員の紹介

- ・新任となる JAEA/栗飯原委員より自己紹介があった。

5. 3 前回議事録について（報告者：渡邊委員）

- ・前回議事録が紹介された。（資料 3-2）

5. 4 夏期セミナーについて（報告者：大西委員）

- ・夏期セミナーの収支および改善点が報告された。（資料 3-3）
- ・夏期セミナーの収入の一部と部会予算にて移動用マイクロバス代を支出することとした。これにより、夏期セミナーの収入額と支出額は一致した。

- ・ 次回の改善点として、日本原燃サイト見学用身分証についての説明を分かりやすくすること、宿泊費の支払処理を簡便にすることが挙げられた。

#### 5. 5 部会セミナーについて（説明者：松田部会長、駒嶺委員、川久保委員）

- ・ 部会セミナーのプログラムについて松田部会長より説明あり。（資料 3-4-1）
  - ・ 日時は 12 月 10 日、場所は東京大学山上会館。
  - ・ テーマは住民、地元との対話活動／リスクコミュニケーション。
  - ・ 基調講演は青山学院大学 教授 岸田一隆氏。
  - ・ テーマ講演は六ヶ所村商工会 会長 種市治雄氏。
  - ・ 特別講演は原子力発電環境整備機構 理事長 近藤駿介氏。
  - ・ パネル討論、ポスターセッションを実施する。
- ・ 部会セミナーの開催案内について駒嶺委員より説明あり。
- ・ 案内を部会 HP に掲載後、部会全体のメーリングリストで情報配信する。
- ・ 部会セミナー事前準備のアクションプランについて駒嶺委員より説明あり。
  - ・ 事前準備の分担を確認した。
  - ・ 謝金について、学会員に支給できるのか会計に確認すること。
- ・ 部会セミナーの当日の作業分担リストについて川久保委員より説明あり。
  - ・ 非会員向けのアンケートを追加する。三倉委員から駒嶺委員に内容を送ること。
  - ・ 部会のメーリングリストで部会セミナーの概略情報を先行して出すこととする。

#### 5. 6 部会賞について（説明者：渡邊委員）

- ・ 部会賞の準備状況が説明された。（資料 3-5）

#### 5. 7 部会等運営委員の報告（説明者：魚住委員）

- ・ 部会等運営委員会での議論の状況が説明された。（資料 3-6）
- ・ 春の年会の企画セッションの申請期限は 11/11。鈴木副部会長が主査を務める「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会と共催で提案する方針となった。

#### 5. 8 若手渡航費支援について（説明者：三倉委員）

- ・ 若手渡航費支援についての原子力学会からの依頼事項が説明された。（資料 3-7）

#### 5. 9 SA 研究ワーキンググループについて（報告者：津幡委員）

- ・ 核燃料サイクル施設シビアアクシデント(SA)研究ワーキンググループのフェーズ 3 について設立状況が報告された。（資料 3-8）

#### 5. 10 その他

- ・ 運営委員会参加への旅費支援が承認された。

以上